

浄化槽の基本的な構成と種類

浄化槽は家庭からのトイレ排水を含む全ての排水を処理することができます。

浄化槽は、槽内にあるバクテリアや原生動物などの微生物の力を活用して、排水中の汚濁物質を分解し浄化しています。浄化槽の構造は、微生物の浄化機能が最大限に発揮できるように設計され、固液分離機能、汚泥貯留機能および消毒機能を備えています。

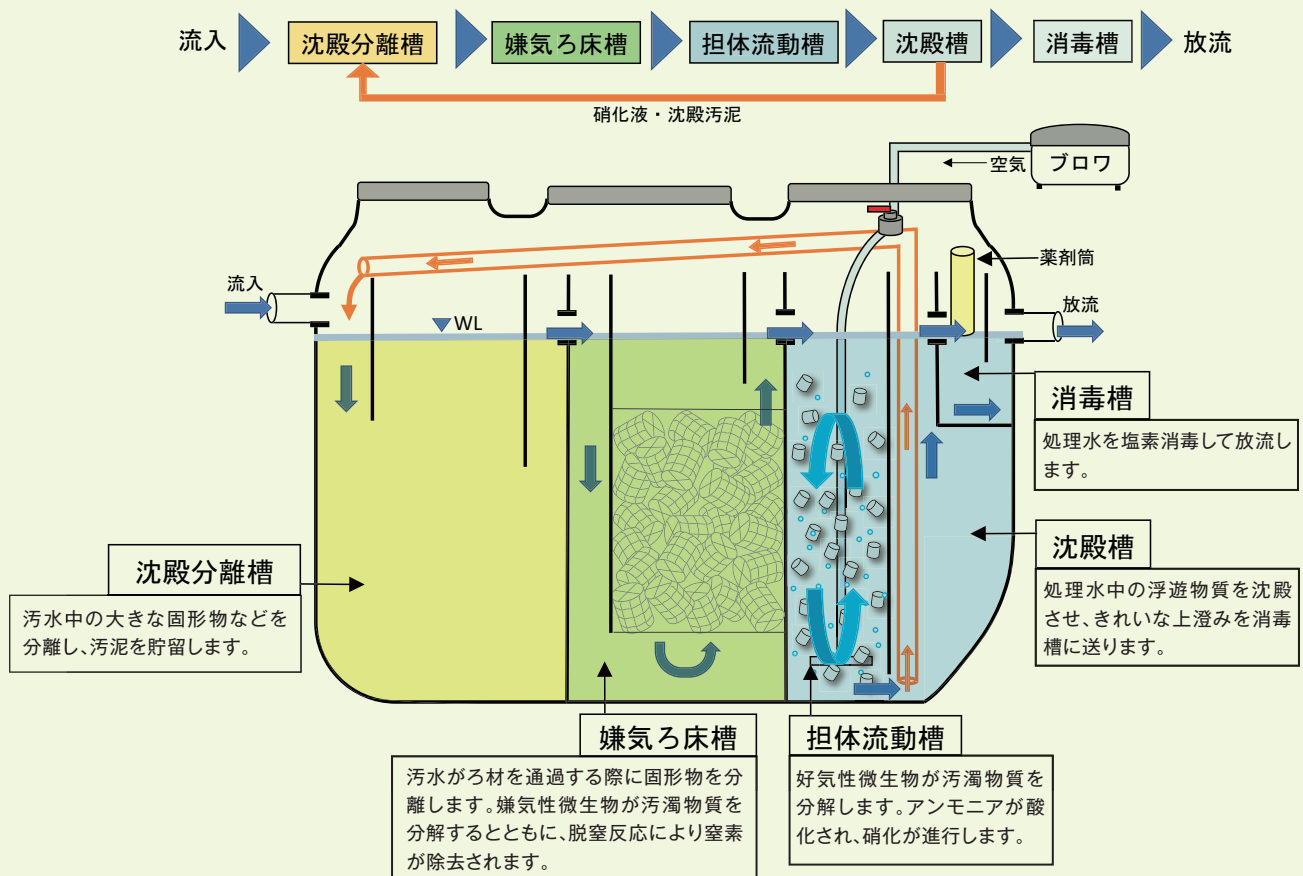


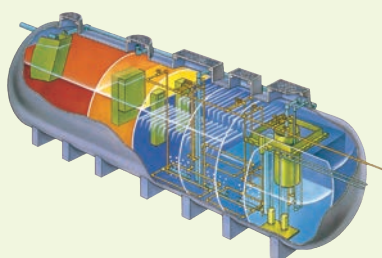
図-15 浄化槽の構成と処理原理(例)

浄化槽は、建物の建築用途、処理対象汚水の量と質、放流先の水質規制状況などに応じて、その大きさ、処理方式、または浄化槽本体の材質などを選ぶことができ、処理能力の大きさで以下のように分類されています。

- ・ 小型浄化槽：戸建て住宅、および50人槽（日平均汚水量では10m³/日）以下の小規模な排水処理に使用され、通常、FRP（Fiberglass Reinforced Plastic）またはDCPD（Dicyclopentadiene）のプラスチック製の工場生産品です。
- ・ 中型浄化槽：51人槽以上500人槽（日平均汚水量では100m³/日）までの中規模な排水処理に使用され、通常、FRP製の工場生産品と、鉄筋コンクリート製（RC製）の現場設置型があります。
- ・ 大型浄化槽：501人槽以上の大規模集合処理に使用され、通常、鉄筋コンクリート製（RC製）で、設置現場で建設されます。



小型浄化槽（FRP製）



中型浄化槽（FRP製）



大型浄化槽（RC製）